



ハッピーこまちちゃんと  
やしおの公共施設についてみんなで考えてみよう!!

3分で読める!! アセット通信

アセット通信  
2017年3月  
第2号

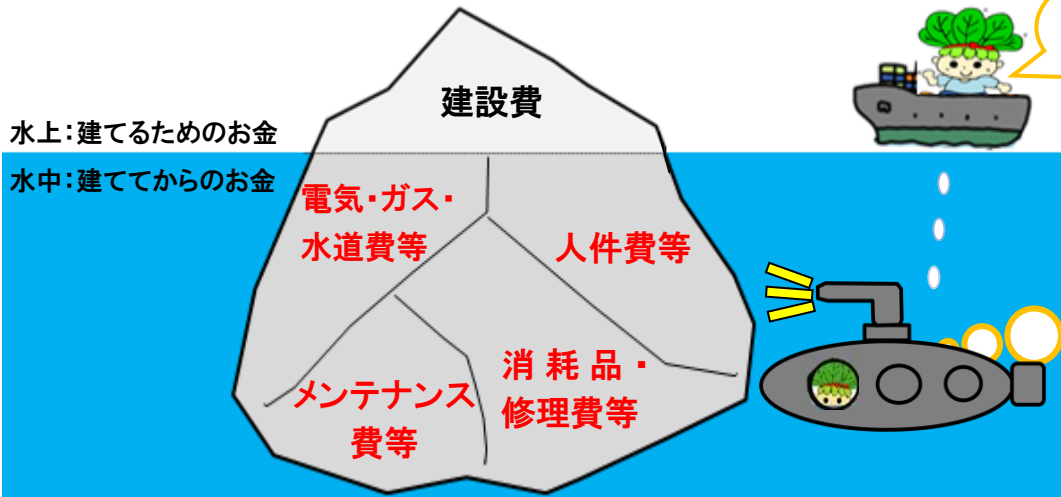
# えっ!?! こんなにお金がかかるの?



アセット通信第1号では、公共施設全体の約7割が築30年以上、約2割が築20~30年の建物であり、約9割の建物が築20年以上であることが分かりました。古くなった建物の維持や改修、建替えには、どのくらいのお金がかかるのでしょうか・・・。



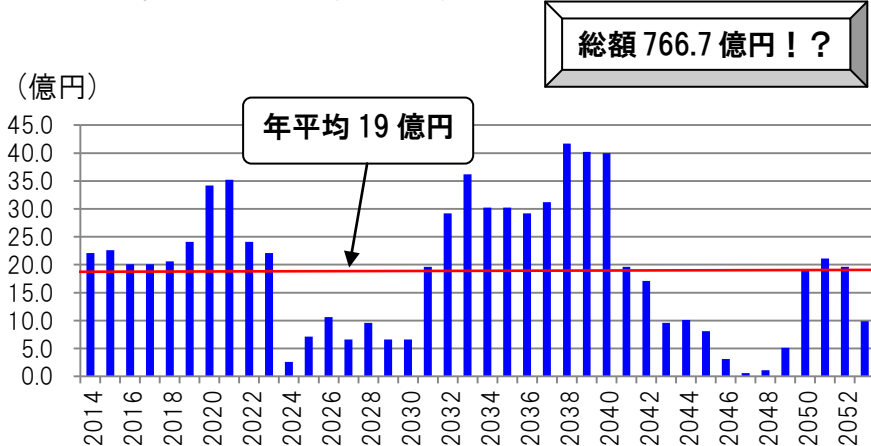
## 建物にかかるお金って・・・?



公共施設にかかる費用を氷山に例えると・・・

あれ!?!  
見えないところで  
たくさんのお金がかかっているなあ。

## どれくらいお金がかかるのかな?



## 市民ひとりにかかる費用は?

公共施設の維持に必要な毎年19億円。  
今の市民(約87,000人)ひとりあたりに換算すると・・・  
 $19 \text{ 億円} \div 87,000 \text{ 人} = \text{約 } 22,000 \text{ 円/ (年)}$   
になります。

イラストの氷山で例えたように、建物は建設費(水上)よりも維持費(水中)が大きくなります。また、一般に建物を建ててからこわすまでにかかるお金は、建設費の約3~4倍とされています。市内の公共施設の改修や建替えには、40年間で総額約766.7億円必要です。毎年にとすると約19億円、市民1人あたりに換算すると22,000円になります。



建物はつくって終わりじゃないんだね。  
第3号は、ライフラインの整備にかかる費用のお話しをします。

発行 八潮市役所  
アセットマネジメント推進課  
TEL:996-2111(内:470)